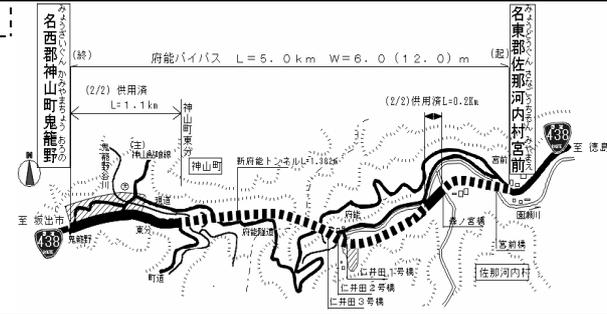


再評価結果（平成16年度事業継続箇所）

担 当 課：道路局国道防災課
担当課長名：鈴木 克宗

事業名	一般国道438号府能バイパス		事業区分	一般国道	事業主体	徳島県						
起終点	自：徳島県名東郡佐那河内村宮前 至：徳島県名西郡神山町鬼籠野				延長	5.0 km						
事業概要	<p>一般国道438号は、徳島市を起点として香川県坂出市に至る幹線道路であり、沿線住民の暮らしを支える重要な生活道路である。府能バイパスは、幅員狭小、線形不良の隘路区間を解消し、安全で円滑な交通の確保を目的とした延長5.0 kmの2車線バイパス事業である。</p>											
H2年度事業化	H 年度都市計画決定 (H 年度変更)	H 2年度用地着手	H 6年度工事着手									
全体事業費	約105億円	事業進捗率	77%	供用済延長	1.1 km							
計画交通量	3,000台/日											
費用対効果 分析結果	B/C (事業全体) 2.14 (残事業)	総費用 (残事業)/(事業全体) 26/121億円 事業費：19/114億円 維持管理費：7/7億円	総便益 (残事業)/(事業全体) 292/292億円 走行時間短縮便益：270/270億円 走行費用減少便益：17/17億円 交通事故減少便益：4/4億円	基準年 平成16年								
感度分析の結果	交通量変動：B/C=2.35（交通量+10%） B/C=1.93（交通量-10%） 事業費変動：B/C=1.97（事業費+10%） B/C=2.31（事業費-10%）											
事業の効果等	<ul style="list-style-type: none"> 国土・地域ネットワークの構築（現道等における大型車のすれ違い困難区間を解消する。） 災害への備え（地域防災計画において緊急輸送路として位置づけられている。） 他10項目に該当 											
関係する地方公共団体等の意見	一般国道438号は、地域間交流の拡大や安全・安心できる暮らしの実現に向け重要な役割を期待されており、国道438・439号並びに主要地方道山城東祖谷山線改良促進期成同盟会から早期整備を求める要望（平成16年11月5日）を受けている。											
事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等	平成13年8月には道の駅「温泉の里・神山」がオープンし、平成15年4月には神山温泉がリニューアルオープンするなど利用者が増加するなか、徳島市中心部と神山町を連絡する本路線への整備の期待は高まっている。											
事業の進捗状況、残事業の内容等	平成16年度末までに1.3 kmを部分供用しており、新府能トンネル(延長1,382m)を平成15年3月に着工して掘削工事の促進を図っている。											
事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等	一部区間で用地交渉が難航したが、平成16年末までに約98%の用地を取得しており、引き続き工事の促進を図り、平成19年度末の全線供用を目指す。											
施設の構造や工法の変更等	トンネル内歩道について利用実態を踏まえ、幅員を縮小してコスト縮減を図っている。											
対応方針	継続											
対応方針決定の理由	以上の状況を勘案すれば、当初から事業の必要性、重要性は変わらないと考えられる。											
事業概要図	<div style="display: flex; align-items: center;">  <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <thead> <tr> <th colspan="2">凡 例</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="text-align: center;">———</td> <td>供用中</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">- - - - -</td> <td>事業中</td> </tr> </tbody> </table> </div>						凡 例		———	供用中	- - - - -	事業中
凡 例												
———	供用中											
- - - - -	事業中											

総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したものの。